

連載

株式評論家 山本伸一の

迎刃 スタンダード

好スタートの新年相場！割安是正に期待感も



新年からのコラムでは「卯年は跳ねる」は本当か!?」無敗の『大統領選挙前年』 やはり今年は騰がる年!」などアノマリーを紹介してきたが、米国市場における「1月の最初の5営業日がプラスであれば、その年のS&P500指数はプラスで終わる」とされる「1月の最初の5立会日バロメーター」をもクリアするなど、相場の先高感が一層強まっている。

相場に乗って「何を買っても騰がる」との意識も膨らむところだが、やはりここは闇雲に手を広げるのではなく、資金効率の高い投資対象を選別するタイミングだろう。

運用会社も先手を打つ形で、野村證券が「野村日本割安低位株投信1101」を設定してきた。全体相場浮上で好パフォーマンスを期待できるのは、ボラティリティに富む「低位株」であり、上値余地のある「割安株」だろう。上昇相場では、資金効率の高い低位割安株を選択すべきだ。今回の投信設定による買いインパクトを先回りする手もある。

弊社も低位株投資を対象とした投資マニュアル「10倍株投資法」「反騰相場に乗り遅れない！出遅れ好業績銘柄の見つけ方」を提供している。興味のある方は弊社に直接問い合わせしてほしい。